

第1回 横浜市ふれあいショップ運営主体選定委員会会議録	
日 時	令和元年5月17日（金）13時30分～15時30分
開催場所	松村ビル別館502会議室
出席者	眞保委員、森委員、新田委員、野本委員、森島委員
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 障害福祉部長あいさつ 3 委員紹介、委員長選出 4 事業の概要について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新市庁舎ふれあいショップについて 5 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 公募要領案の内容について (2) 運営主体候補の選定方法について 6 意見交換 7 閉会
決定事項	公募要領案及び企画書等評価基準項目について、意見交換した内容を委員長が取りまとめた上で、各意見に後日報告する旨を決定
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 障害福祉部長あいさつ 3 委員紹介、委員長選出 4 事業の概要について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新市庁舎ふれあいショップについて 5 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1) 公募要領の内容について (2) 運営主体の選定方法について 6 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・このような事業には熱意が必要なので、店長の存在はとても大切である。類似業務の経歴があるかだけでなく、その人の人間味のような視点を評価基準として加算したらどうか。 ・福祉ということだけでショップにお客さんが来るような時代ではないので、ショップ自体に魅力を持たせ、横浜の良い所を発信する場になるという企画は相当難しいだろう。逆にそこに奮起していただいて、多くの方々に応募していただきたい。障害者雇用は今当たり前になっているので、障害者だからということではなく、障害者を当たり前のように雇用している企業、事業者が運営していくというようなことを期待している。 ・1階、2階の商業施設の店舗とふれあいショップの連動など、そんな視点でふ

	<p>れあいショップの運営を考えてもよいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6000人の職員導線に位置しているショップなので、ビジネスモデルとして市職員向けのサービスというのに特化するという考え方もあるが、それをどう市民に発信していくか工夫が必要。 <p>7 閉会</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1：新市庁舎ふれあいショップの運営法人について（概要説明資料） ・資料2：企画書等評価基準項目 ・横浜市新市庁舎内に設置するふれあいショップ運営主体公募要領案 <p>2 特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は令和元年8月19日を予定。